

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



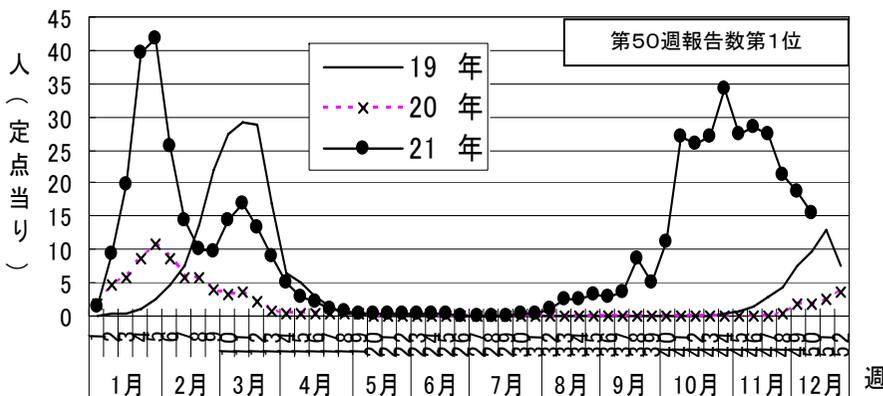
KAWASAKI CITY

平成21年12月7日（月）～12月13日（日）〔平成21年第50週〕の感染症発生状況

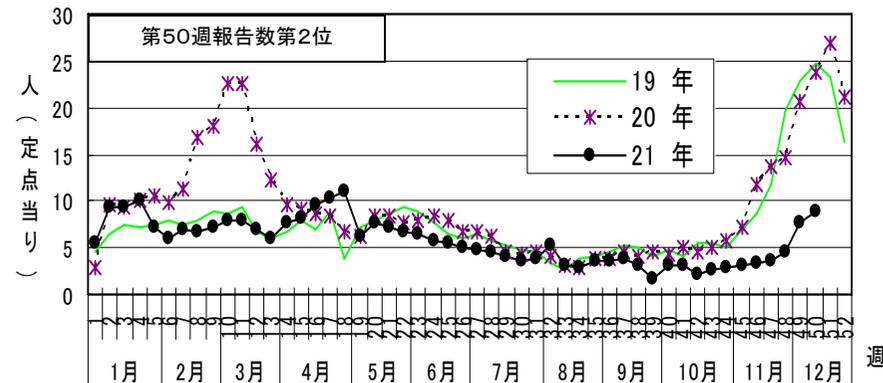
第50週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 水痘となっています。

インフルエンザは、定点あたり15.61と前週より報告数は減少しました。中原区を除く全区で報告数が減少しています。一方で、感染性胃腸炎の報告が2週連続で増加しております。引き続きインフルエンザと同様に感染性胃腸炎にも注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



今から注意したい～感染性胃腸炎～

感染性胃腸炎はウイルスや細菌が原因で起こりますが、秋から冬にかけて流行するものはほとんどウイルスによって起こります。特にこれからの時期はノロウイルスによるものが増えてきます。川崎市においても感染性胃腸炎の報告数はここ2週間で大きく増加しています。

みんなで実践！ノロウイルス対策！！

- ①二枚貝等の生食には注意し、加熱が必要な食品は中まで加熱（85℃で1分以上）して食べるようにしましょう。
- ②患者さんの便や嘔吐物、それに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、手洗い・うがいを徹底しましょう。
- ③便や汚物を放置してしまうと、乾燥して空中に舞い上がり、それが口に入ることによって感染することもあります。患者さんの便やおむつ、吐物は乾燥しないうちに早めに片付けましょう。
- ④また、必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（※次亜塩素酸トリウム）などで消毒してください。※漂白作用があるので使用の際にはご注意ください。

ノロウイルスは、冬季などを中心に急性胃腸炎を起こすウイルスです。下痢や嘔吐、発熱などの症状が出て2～3日で回復しますが、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者では重篤な症状になることがあります。

また非常に感染力が強くてごく少量のウイルスで発病します。感染者の便や嘔吐物には多量のウイルスが含まれ、二次汚染（汚れた手などを介して食品を汚染すること）なども食中毒発生の原因になります。



～ノロウイルス食中毒警戒情報発令～

平成21年12月7日から平成22年3月末日まで、感染性胃腸炎の患者数及び例年の発生状況等を受けて、神奈川県内に「ノロウイルス食中毒警戒情報」が発令されました。左記に示した対策を家庭で実践し、ノロウイルスを含めた食中毒等には十分注意しましょう。

